「アジア善隣物流」で日本とアジアの協働・共創プラットフォームを！

アジア・シームレス物流フォーラム2020

つながる・流れるものと情報

Asia Seamless Logistics Forum 2020 Online Version

持続可能性　Withコロナ　BCP　先端技術活用〈IoT/AI/ロボティクス〉

聴講料無料

12.2水,3木,4金

ASLF初のオンライン版でいよいよ開催！

充実の3日間プログラム全貌を大公開

（注）セッション／セミナーの時間枠は変動する可能性があります。直近のプログラムを必ずご確認ください。

詳細及び聴講予約は下記より

https://mf-p.jp/online-aslf/

会　期	2020年12月2日水―4日金
主　催	一般社団法人 日本マテリアルフロー研究センター（JMFI）
企画・運営	㈱流通研究社／月刊「マテリアルフロー」
協　賛	流通経済大学
後　援	●国土交通省　●経済産業省　●農林水産省　●駐日タイ王国大使館　●駐日ベトナム大使館 ●㈱海事プレス社　●技術士包装物流会　●（独法）国際協力機構　●（一社）国際フレイトフォワーダーズ協会 ●（公社）全日本トラック協会　●（一社）日本アパレル・ファッション産業協会 ●（一社）日本医療機器ネットワーク協会　●日本インダストリアル・エンジニアリング協会 ●㈱日本海事新聞社　●（一社）日本加工食品卸協会　●（一財）日本規格協会　●（一社）日本経済団体連合会 ●（一社）日本産業車両協会　●（一社）日本3PL協会　●（一社）日本自動認識システム協会 ●（一社）日本スーパーマーケット協会　●（公社）日本通信販売協会　●（一社）日本パレット協会 ●（一社）日本物流システム機器協会　●（一社）日本物流団体連合会　●（独法）日本貿易振興機構 ●（公社）日本包装技術協会　●（公社）日本ロジスティクスシステム協会　●（一財）流通システム開発センター ●中国機械工程学会，中国倉儲与配送協会，中国物流購買連合会 ●韓國コンテナ・パレット協会，韓國物流研究院　（交渉中含む，順不同）

アジア・シームレス物流フォーラム2020 オンライン版

開催の挨拶

コロナ禍後，再び勢いを取り戻す 生産・物流に向けた新たな取り組みを

一般社団法人
日本マテリアルフロー研究センター 会長
大庭靖雄氏

当センターが，流通研究社と連携して実施してまいりましたアジア・シームレス物流フォーラム，昨年の第８回目では，２日間で約１万2,000人のご参加をいただきました。アジア地域の活発な経済拡大と物流改善への意欲，それにアジア善隣物流という考え方に支えられ，盛大な行事となりました。

そして2020年。新型コロナウイルスによる感染症の拡大が，大きな影響を及ぼしています。その影響はすでに長期間にわたっており，物流に関する活動も含め様々な活動パターンの変更が余儀なくされています。

このようなコロナ禍のもとでも物流サービスは欠かすことができません。いったんは停滞しているように見える生産活動は，再びその勢いを増すことは確実です。それを見越して，新たな取り組みを怠らず，さらなる改善の準備を行わなければなりません。最新の情報に接する努力は欠かすことができないと存じます。

とはいえ感染症の拡大を防止するため，例年とは異なり，大勢の方に集まってもらうことはできません。そこで今回のフォーラムは，最新の技術を活用したオンラインにより，安全でアクセスしやすいセッション・セミナーを３日間開催することにいたしました。

アジアにおけるサプライチェーンの課題を乗り越えるための取り組みが紹介されます。政策連携セッション，非接触型ソリューションのセッション，アジアの物流不動産のセッション，アグリ物流のセッション，シェアリングのセッションなどにおいて日進月歩の最新事情に触れていただくことができます。

行政機関や関連業界の皆様のご参加，ご支援により，アジア・シームレス物流を発展させ，我が国の産業の国際競争力を向上するイベントにしたいと存じます。月刊マテリアルフローご購読の皆様におかれましても，積極的にご参加いただきますようお願い申し上げます。

ニューノーマル時代へ向け 新たな方向を模索する大いなる一歩に

アジア・シームレス物流フォーラム2020
企画・実行委員長（味の素㈱ 上席理事
食品事業本部 物流企画部長）
堀尾 仁氏

「『アジア善隣物流』で日本とアジアの協働・共創プラットフォームを！」をテーマに，国内外に襲いかかる物流危機を跳ね返すソリューションを多く提供し続けてきた「アジア・シームレス物流フォーラム」が2020年に大きく変身します。ご存知のようにこれまでに経験したことのないコロナ禍という状況の中，経済活動との両立に向け，様々な分野で模索・挑戦が繰り広げられています。当フォーラムにおきましても，先行き不透明な中で，従来通りのリアル展示，リアルセミナーを継続していくべきか，それとも新しい開催方法に舵を切るべきか，ぎりぎりまで議論を重ね，その結果，12月２日㈬～12月４日㈮の３日間にわたるオンライン版フォーラムを開催することにいたしました。

このオンライン版フォーラムは，今年の足元の状況を鑑み，やむを得ず採用した方法ではなく，アフターコロナすなわちニューノーマルにおける展示会，セミナー，フォーラムの在り方を模索するスタートという位置づけです。テーマ，内容については従来と変わらず，いや，従来以上に時代を先取りし，皆様方の抱える課題解決のヒントになるようなものとしております。一方，その構成，やり方についてはまさにゼロからの出発で，知恵を絞り出し，様々な工夫がここかしこに散りばめられております。読者の皆様におかれましては，ぜひ，この生まれ変わったアジア・シームレス物流フォーラムに，ご参加，ご出席いただき，現場課題解決のヒントを見付けていただくとともに，今回のフォーラムのやり方をじっくり体験していただき，忌憚のないご意見，アイデアなどをお聞かせください。新時代のセミナー，フォーラムの在り方についてお力をお貸しいただければ幸いでございます。皆様のご参加を心よりお待ち申し上げております。

経済と国民生活支えるインフラである物流改革と生産性向上を

国土交通省
公共交通・物流政策審議官
久保田雅晴氏

この度「アジア・シームレス物流フォーラム2020」が皆様のご尽力により開催されることを，心からお祝い申し上げます。「アジア・シームレス物流フォーラム」は，官民の物流関係者の課題の把握や認識の共有の場としても大きな役割を果たしてこられたところであり，これまでの(一社)日本マテリアルフロー研究センター（JMFI）及び貴誌・月刊マテリアルフローの取り組みに改めて敬意を表します。

物流は経済成長と国民生活を支える重要な社会インフラであり，平時はもとより，災害時や新型コロナウイルス感染症の流行時のような非常時においても，エッセンシャル・サービスとしてその機能維持が求められます。また，少子高齢化や人口減少が本格化する中で，働き方改革の推進や生産性の向上は喫緊の課題です。

さらに，アジア諸国の経済成長と競争力強化を背景としたグローバル・サプライチェーンの構築が進んでおり，このような成長市場の物流需要を取り込み，我が国物流事業者の海外展開及びサプライチェーンのシームレス化を図ることも重要な課題です。国土交通省としても，日中韓物流大臣会合等の政府間対話やASEANを中心とした我が国発のコールドチェーン物流サービス規格の普及等を通じてこの動きを支援してまいります。

「アジア・シームレス物流フォーラム2020」は以上のような課題に関連し，数多くのセミナーや最新のソリューションを提供する場として大変意義深いものと考えております。これまでの取り組みに感謝を申し上げるとともに，フォーラムの成功を祈念し，祝辞とさせていただきます。

コロナ禍後に求められる非対面・非接触技術などのソリューションに期待

経済産業省 大臣官房審議官
(商務・サービス担当)
岩城宏幸氏

「アジア・シームレス物流フォーラム2020オンライン版」の開催おめでとうございます。

本フォーラムは，2012年の初回開催以来，物流事業者や荷主事業者，IT事業者など，様々な事業者のマッチングや最新情報の提供の場となる展示会・セミナーとして，大きな意義を果たされてきたと認識しております。

今回は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で一時延期となりましたが，関係者の皆様のご尽力により，12月にオンラインで開催される運びとなりましたこと，心よりお慶び申し上げます。オンライン開催により，遠方からでも参加しやすい環境が整っています。ピンチをチャンスとし，ますます物流の最新の技術，サービス，ソリューションを広く伝達できるフォーラムとなることを期待しております。

物流市場は，トラックドライバー不足等に加え，新型コロナウイルス感染症の影響で，非接触・非対面が求められ，更に難しい環境となっております。本フォーラムでも非接触技術，シェアリング，ロボティクスなど，様々なソリューションの紹介があるとお聞きしております。本フォーラムが，物流サービスを再構築し，生産性を高めていく契機となることを期待しております。経済産業省からも，サプライチェーン全体の最適化に資する様々な施策について，ご紹介させていただきます。

最後に，主催の(一社)日本マテリアルフロー研究センター様，企画・運営の流通研究社様の物流への多大なるご貢献に感謝申し上げるとともに，本フォーラムが盛況を博し，物流業界が，今後，益々発展することを祈念し，祝辞とさせていただきます。

グローバルなロジスティクス改革に果たすフォーラムの大きな役割を確信

技術士包装物流会 会長
野田治郎氏

アジア・シームレス物流フォーラム2020開催を心からお祝い申し上げます。

2020年は，思いもかけない新型コロナ感染症による世界パンデミックでスタートしました。世界中の人達が混乱し，世界経済も混沌とし，いつまでこの状態が続くのか，見えない状況となっております。

グローバル・サプライチェーンが大きく揺らぎ，不確実になってきた世界経済の中で，グローバル・ロジスティクスの変革が急がれています。日本国内では，人手不足，商品の小口化，環境問題，BCP等，物流が抱える従来の問題が，コロナ禍で鮮明になり，課題解決のスピードアップが求められています。

このような環境下で開催される，「アジア・シームレス物流フォーラム2020」は，ロジスティクス変革に大変大きな役割を果たすものと確信いたします。

技術士包装物流会は国家資格である技術士，特に経営工学部門の生産・包装・物流を専門とする技術士の集まりです。アジア・シームレス物流フォーラムでは，毎年当会の出展ブースにて活動の紹介，技術士受験の案内等を行わせていただいており，今回はWEB開催にあたってフォーラムに参画し，ロジスティクス変革に携われます事，大変光栄でありこの場をお借りして御礼申し上げます。

アジア・シームレス物流フォーラムの今後一層のご発展を祈念して，お祝いの言葉とさせていただきます。

アジア・シームレス物流フォーラム2020 オンライン版

セッション／セミナー プログラム

9回目にして初のオンライン開催，ASLF初のチャレンジにご期待いただき，今すぐWEBから聴講のご登録を！

アジア・シームレス物流フォーラム（ASLF）は，「アジア善隣物流」をメインコンセプトに，2012年に記念すべき第1回を開催しました。21世紀の我が国経済がアジア各国と不可分に結びつく環境下，国内・国際物流をよりスムーズに，かつ「シームレス」に革新していくことこそが産業界の喫緊課題になっている機会をとらえ，我が国で初めて同テーマを掲げる定期イベントとして，2012年に㈱流通研究社の主催により第一歩を踏み出したものです。

以降，展示会とセミナーによる課題解決提案型イベントとしての評価を確立しながら毎年開催を継続しつつ，2017年の第6回以降は新たに発足した（一社）日本マテリアルフロー研究センターが主催となり，国土交通省・経済産業省のご後援もいただきながら，順調にその規模を拡大してきました。第8回の前回「ASLF2019」では，2日間で1万人を超える来場者を2年連続で記録，第9回目となる今年度の「ASLF2020」は5月に開催予定でしたが，新型コロナ禍の影響に鑑みて11月に延期，さらに昨今の状況を慎重に勘案した結果，12月のオンライン開催を決定しました。

主催及び企画・運営サイドとしては，実展示場を設置しない初めてのWEB開催となることから，アフターコロナ，さらにその先を見据えた新たなチャレンジの第一歩として，着実な成功を目指し，鋭意企画・制作に取り組んでおります。

12月2，3，4日の3日間にわたり，読者の皆様の奮ってのご参加をお待ちしております。

㊤過去のリアル版ASLF開会式風景　㊦過去のリアル版ASLF会場風景

12.2水

12:55~13:00	企業プロモーション
13:00~13:05	開会の挨拶① ●（一社）日本マテリアルフロー研究センター｜大庭会長
13:05~13:08	開会の挨拶② ●ASLF2020｜堀尾企画・実行委員長 （味の素㈱｜上席理事 食品事業本部 物流企画部長）
13:08~13:24	A1 物流DXセッション **大塚倉庫が目指すconnected logistics** ●大塚倉庫㈱｜代表取締役社長 濵長一彦氏
13:24~13:55	A2 政策連携セッション／日本のアジア連携物流政策 **アジア・シームレス物流を支援する国土交通省の政策と展望** ●国土交通省｜大臣官房参事官（国際物流）谷合 隆氏
13:55~14:24	A3 政策連携セッション／日本のサプライチェーン最適化政策 **経済産業省における物流政策** サプライチェーン全体の最適化に向けて ●経済産業省｜商務・サービスグループ 物流企画室長 西野 健氏
14:24~14:29	企業プロモーション
14:29~14:44	A4 国際物流セッション **アジアを中心とした，グローバルサプライチェーンを実現する山九** アジア・ハブセンター開設について ●山九㈱｜ロジスティクス・ソリューション事業本部 営業部 部長 多田晴好氏
14:44~14:55	A5 物流DXセッション **省人化とソーシャルディスタンス確保を実現する新しい物流ソリューション「フルラインGTP」** ●トーヨーカネツ㈱
14:55~15:05	企業プロモーション
15:05~16:30	A6 アジア物流不動産セッション **アジア・日本の物流不動産開発の今後と展望** パネルディスカッション ●大和ハウス工業㈱｜東京本社 建築事業本部 営業統括部 Dプロジェクト推進室 室長 井上一樹氏 ●㈱souco｜代表取締役 中原久根人氏 ●㈱シーアールイー｜取締役執行役員 経営戦略部門 部門長 山本岳至氏 ●シービーアールイー㈱｜アドバイザリー&トランザクションサービス インダストリアル営業本部 本部長 小林 麿氏 ●［進行］月刊「マテリアルフロー」編集長 吾妻芳行
16:30~16:35	企業プロモーション
16:35~16:51	A7 物流DXセッション **DX活用で，安心・安全な業務と効率化を実現** 配送業務向けソリューション導入事例・製品のご紹介 ●パナソニック㈱ コネクティッドソリューションズ社｜モバイルソリューション事業部 事業開発部 サプライチェーンマネジメント事業推進課 主務 原田孝之氏
16:51~17:07	A8 物流DXセッション **非接触物流 脱ハンコ・脱FAX・脱電話を実現する物流現場とは** ●㈱TSUNAGUTE｜代表取締役 春木屋悠人氏
17:07~17:12	企業プロモーション
17:12~18:21	A9 アグリ物流セッション **アグリ物流の課題と改善への展望** パネルディスカッション ●農林水産省｜食料産業局 食品流通課長 武田裕紀氏 ●ホクレン農業協同組合連合会｜物流部長 戸田弘二氏 ●［進行］月刊「マテリアルフロー」編集長 吾妻芳行
18:21~18:26	企業プロモーション

12.3 木

12:55~13:00	企業プロモーション
13:00~13:05	開会の挨拶① ●(一社)日本マテリアルフロー研究センター｜大庭会長
13:05~13:08	開会の挨拶② ●ASLF2020｜堀尾企画・実行委員長 (味の素㈱｜上席理事 食品事業本部 物流企画部長)
13:08~13:24	B1 国際物流セッション **国際物流のDX最前線** 日本初のデジタルフォワーダーShippioが目指す理想の物流体験 ●㈱Shippio｜代表取締役 佐藤孝徳氏
13:24~13:55	B2 非接触ソリューションセッション **非接触レイアウト・設備のモデル事例~ マーケットニーズに即したフレキシビリティの重要性** 省人化を実現する，非接触ソリューションAGV，NIKE専用フルフィルメントセンターDUNKを通じて ●㈱アッカ・インターナショナル｜ソリューションデザインチーム 取締役 嶋田由香里氏
13:55~14:00	企業プロモーション
14:00~14:15	B3 物流DXセッション **不確実性の時代，ダイナミックなルート再構築が幹線物流の決め手** 具体的な経営への貢献が得られて初めて，モノと情報がシームレスにつながることに価値が生まれます。物流のデジタルツインによって生み出す幹線物流最適化の価値を，事例を基にご紹介します ●ダッソー・システムズ㈱｜DELMIAブランド・ディレクター 藤井宏樹氏
14:15~14:31	B4 物流DXセッション **コロナ禍で顕在化したサプライチェーンリスク— レジリエントなデジタルサプライチェーンとは？** 物流の可視化と分析力はサプライチェーンにおける混乱リスク管理を向上します。企業間データ連携による進化した強靭なデジタルサプライチェーン構築へのヒントをご紹介します ●オープンテキスト㈱｜ソリューションコンサルティング本部 シニアソリューションコンサルタント 山本惟司氏
14:31~14:46	B5 MHシステムセッション **急増する配送物仕分けの課題に応える，小物・アパレル・ピース品仕分け専用の新ソーターシステム** 欧米で導入が進む「スプリット・トレイ式」と，シンプルで汎用性の高い「プッシュ・トレイ式」ソーターのご紹介 ●ベーヴェシステックジャパン㈱｜東日本事業本部 東日本営業部 物流システム担当 桑原徳雄氏
14:46~14:51	企業プロモーション
14:51~15:37	B6 シェアリングロジセッション **コロナ禍で加速する新たな物流の潮流について** フィジカルインターネット ●(一社)ヤマトグループ総合研究所｜理事長 木川眞氏
15:37~15:42	企業プロモーション
15:42~15:57	B7 国際物流セッション **日中間アジアシームレス物流** 日本発中国経由欧州向け(Sea&Rail)サービスのご案内~CHINA LAND BRIDGE ●日本通運㈱｜ナレーター：野村奈央
15:57~16:12	B8 MHシステムセッション **急増する物流量に対応する自動化技術！** スモールスタートを可能にするMDR式マテハン納入事例 ●伊東電機㈱
16:12~17:43	B9 政策連携セッション／海運と災害BCPネットワーク ❶プレゼンテーション **関西圏唯一の日本海側重要港湾「京都舞鶴港」** 地方港を利用したリダンダンシーの確保 ●(一社)京都舞鶴港振興会｜専務理事 西山裕樹氏 **環日本海物流が災害による 日本のSCM分断を救う！** Withコロナと大規模災害でさらに難しくなったサプライチェーンの継続，“極東の湖”日本海航路によるアジア連携で物流BCPを解決する ❷パネルディスカッション ●サンスターグループ｜コーポレートマネージメント 日本ブロック ロジスティクス担当 理事 荒木協和氏 ●ヤマトグローバルロジスティクスジャパン㈱｜貿易物流サービスカンパニー ソリューション営業課 アシスタントマネージャー 田村寛之氏 ●(一社)京都舞鶴港振興会｜専務理事 西山裕樹氏 ●[進行]流通経済大学｜流通情報学部 大学院 物流情報学研究科 教授 矢野裕児氏
17:43~17:48	企業プロモーション

12.4 金

12:55~13:00	企業プロモーション
13:00~13:05	開会の挨拶① ●(一社)日本マテリアルフロー研究センター｜大庭会長
13:05~13:08	開会の挨拶② ●ASLF2020｜堀尾企画・実行委員長 (味の素㈱｜上席理事 食品事業本部 物流企画部長)
13:08~13:23	C1 物流DXセッション **新技術による省人化へのアプローチ** ●㈱セイノー情報サービス｜東日本営業部 営業一グループ 係長 棚瀬健太氏
13:23~14:22	C2 物流ロボティクスセッション／自動化・省力化・働き方改革① **物流現場作業 自動化・省力化の限界にチャレンジ！** **最先端のAI技術とロボティクスを駆使した次世代型物流** ●㈱PALTAC｜執行役員 研究開発本部長 三木田雅和氏 **トラスコ中山の物流のリアル** 決して物流を止めない仕組みと課題 ●トラスコ中山㈱｜取締役 物流本部 本部長 直吉秀樹氏 **EC物流の方向性** ●アスクル㈱｜執行役員 ECR本部本部長 天沼英雄氏
14:22~14:27	企業プロモーション
14:27~14:43	C3 物流DXセッション **ピッキング効率化の新常識！LSSとは？** LSS・ピッキング効率化システムとロボット連携の可能性 ●㈱タクテック｜代表取締役 山崎 整氏
14:43~14:57	C4 物流不動産セッション **柔軟な物流・サプライチェーンの設計を考える** ●㈱souco｜代表取締役 中原久根人氏
14:57~15:02	企業プロモーション
15:02~15:41	C5 物流ロボティクスセッション／自動化・省力化・働き方改革② **高度な物流技術の利用でグローバル化，京東(JD)物流の高品質なサービスを実現する** ●京東国際物流｜高級総監 暴景华氏 ●京東物流集団｜顧問 卢光洋氏
15:41~15:46	企業プロモーション
15:46~16:02	C6 物流ロボティクスセッション **世界初!? 330台のAGVで次世代ニューノーマルへ！** ●㈱椿本チエイン｜マテハン事業部 第一営業部 主事 山口浩央氏
16:02~16:17	C7 物流DXセッション **デジタルツインによるサプライチェーンの意思決定高度化** ●LLamasoft㈱｜シニアソリューションデザイナー 松田 薫氏
16:17~16:33	C8 物流ロボティクスセッション **オカムラがご提案する最新の物流ロボティクス・ソリューション** ●㈱オカムラ｜物流システム設計部 山田 愛氏
16:33~18:03	C9 物流・近未来トレンドセッション **ロジスティクス2030 サプライチェーン高度化** パネルディスカッション ●㈱フレームワークス｜代表取締役社長 秋葉淳一氏 ●JILS総研｜所長 北條 英氏 ●日本パレットレンタル㈱｜JPR総合研究所 主任研究員 永井浩一氏 ●[進行]流通経済大学｜流通情報学部 大学院 物流情報学研究科 教授 矢野裕児氏
18:03~18:08	企業プロモーション

※企業プロモーション参加企業……オークラ輸送機㈱，山九㈱，センコーグループホールディングス㈱，㈱ダイフク，㈱タクテック，㈱椿本チエイン，パナソニック㈱，水岩運送㈱ほか(50音順)